新　刊

□神奈川県植物誌調査会（編）：**神奈川県植物誌　2001** 1,584 pp. 神奈川県立生命の星・地球博物館．￥9,800＋1,200（送料）．

神奈川県植物誌1988の改訂版である．前版より100頁以上も増えている．図が増え，分布図がより正確になり，種の解説もより詳しくなっている．解説のなかには種の分類を詳細に検討していて，独立した研究報告として発表すべきではないかと思われるものもある．このことが頁数が増えていることと関連している．地方の植物誌としてはこれ以上のものは望めないだろう．連絡先は，〒250–0031 神奈川県小田原市入生田 499.　（山崎　敬）

1988年に刊行された神奈川県植物誌1988は，当時ようやく利用が拡がりはじめたパソコンによるデータベースを基とし，加えて分布図はおろか版下までパソコンで自作するという，わが国のフロラ研究史に一時期を画する作品だった．その結果1994年には2500部を完売し，在庫切れになったという．本書はかねてから準備されていたその改訂版である．今回も予算の制約のため，版下はすべて自作し，その結果前版と同じ価格に抑えることができたという．表に出ない当事者のこういう努力は，はかり知れない．改訂と言っても，フロラの部分はすべて新たに書き直され，図も前版のものと共に多くの追補が行われている．フロラの部分の頁数だけをくらべれば，1988年版では1271頁，2001年版では1436頁と，さしたる増加はないように見えるが，行間が圧縮され，図もやや縮小してコンパクトに配置されているので，記述内容ははるかに多くなっている．前版で多く使われていた標本のシルエットは，今回は線画に差し替えられた．分布図については，町村界を示す前版と同じ地図パタンを使っているものの，分布点が前版では地区につき一点だったものを，三次メッシュによる表示に改めた結果，より精細な表現となった．これに加えて記録時期によって三種類のマークを使い分け，分布の変遷を示す試みがなされている．もっともその為に少々見づらい反面もある．地図パタンが同じと言っても，今回のものは国土地理院数値地図による描画である．標本の引用は原則として省かれているが，県内に基準産地があるものや，特記すべき種類については示されている．1988年版にあった，気候，地形・地質，植物季節，文献目録は省かれ，研究史，県を基準産地とする植物の項が残っている．研究史には加筆のあとが見られ，基準産地植物のリストは新たに書き替えられている．文献目録は研究史の一部として前版以降のものが示されている．

神奈川県には県立博物館をはじめ地域博物館，資料館，植物園などの施設が多く，それぞれ研究者が活動しており，他地域にくらべて恵まれていて，それらが活動の基盤となっているのはうらやましい．しかし特筆すべきことは，それらの機関が緊密に連携し，一般の同好者を取り込んで，地道な現場調査，標本収集，記録のまとめなどを行う組織を作り上げ，維持してきた結果が，今回の改訂版につながったことである．今日では自然環境調査などの関係で，こういう県単位の活動の機会はどこにでもあるが，それが恒常的な組織化にはなかなかつながらない．神奈川県植物誌2001は，こういう面からも参考評価されるべきだろう．連絡先：250–0031 小田原市入生田 499，TEL 0465–21–1515 ex 620. FAX 0465–23–8846. E-mail. tabuchi1953@aol.com

（金井弘夫）

□van den Hoek C. and Chihara M.: **A Taxonomic Revision of the Marine Species of *Cladophora* (Chlorophyta) along the Coasts of Japan and the Russian Far-East**. 242 pp. 2000. National Science Museum Monographs No. 19. National Science Museum, Tokyo.

藻類学の碩学 van den Hoek 先生をご案内して２人で八丈島に採集に出かけたのはもう11年前にもなる．以来ずっと心待ちにしていた本書が国立科学博物館より発刊され，ここに手にすることができ感無量である．八丈島で私が採集してお見せする度に先生が教えてくれたシオグサ類の学名はほとんど忘れてしまっていたけれど，本書により記憶が取り戻せることが何よりうれしい．

シオグサ属藻類は海水から汽水を経て淡水